

## 研究対象者の皆様

### 研究課題「日本眼科学会による眼科専門研修基幹施設における

### アンケート調査の分析」へのご参加のお願い

#### 1. この研究の概要

【研究課題】日本眼科学会による眼科専門研修基幹施設におけるアンケート調査の分析  
(審査番号 2023087NI)

【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

研究機関 東京大学大学院医学系研究科外科学専攻眼科

研究責任者 相原 一 東京大学大学院医学系研究科外科学専攻眼科教授

担当業務 研究計画、アンケート調査票作成、データ分析、論文執筆

東京大学大学院医学系研究科医学教育国際研究センター医学教育学部門と東京大学大学院医学系研究科外科学専攻眼科が共同で、日本眼科学会による眼科専門研修基幹施設におけるアンケート調査の分析の研究を実施します。

【業務委託先】日本眼科学会、Ipsos

日本眼科学会が眼科基幹施設活動実態アンケート調査を行う。

日本眼科学会がアンケートの調査の実施とローデータ納品を Ipsos に委託している。

【研究期間】倫理審査承認日～2028年3月31日

【研究目的・意義】

医師・歯科医師・薬剤師統計によると、2020年の医療施設(病院・医育機関・診療所)に従事する医師は約34万人で、そのうち眼科医は約1万3千人(4.2%)です。医師は20年前と比較し約8万人増加しましたが、眼科医は約1千人減少しました。一方、女性眼科医は男女別統計が開始された2004年と比較し約700人増加し、眼科医師の39.0%が女性となりました。しかし、女性医師の就業率は出産・育児と重なることが多い30代で特に低下し、医師登録後12年目で最低の73.4%になることが指摘されています。また、最近では病院や医育機関を早期に退職する若手医師が性別問わずに増加している印象があります。このように早期に多くの医師が退職することは、勤務医不足を招くだけでなく高度で専門的な医師を養成するために病院や医育機関が行っている生涯学習支援を困難にしている可能性があります。今まで日本眼科医会が眼科の女性医師の離職理由やライフスタイルについて調査を行っていますが、最近の調査(2021年)で、病院勤務の眼科女性医師の回答率は8.4%に留まっています。

一方、日本外科学会や日本皮膚科学会がアンケートを基にした調査報告を発表しています。また海外の眼科ではアメリカ、カナダ、オーストラリアなどから勤務環境やライフスタイルの男女差についての報告があります。

そこで今回、日本眼科学会が眼科専門研修基幹施設(110施設)における男女別の職位や業績、競争的資金、勤務状況、離職理由などについての行ったアンケート調査の結果

を分析し、眼科における男女差の有無や、女性割合の高い組織と低い組織の業績差の有無の検討を行います。

#### 【研究の方法】

・本研究では日本眼科学会が眼科専門研修基幹 110 施設に 2023 年に実施したアンケート結果を分析します。

・個人の業績に関する指標については、h-index を用い、Web of Science のオンラインデータベースを使用します。

なお、研究計画書や研究の方法に関する資料を入手・閲覧して、研究内容を詳しくお知りになりたい場合は、末尾の連絡先にお問い合わせください。研究の独創性確保に支障がない範囲でご提供させていただきます。

#### 2. 研究参加の任意性

この研究にご参加いただくかどうかは、研究対象者の自由意思に委ねられています。研究の内容について理解いただき、研究にご参加いただける場合は、Web 調査票の同意欄にチェックをしてください。

もし同意を撤回される場合は、同意撤回書に署名し、日本眼科学会事務局にご提出ください。なお、研究にご参加いただけない場合でも、将来にわたりあなたの不利益につながることはありません。研究対象者からの申し出があれば、可能な限り情報・データ等および調べた結果を廃棄します。ただし、同意を撤回されたとき、すでに研究結果が論文等に公表されていた場合は、廃棄することができませんのでご了承ください。

#### 3. 個人情報の保護

この研究に関わって取得される情報等は、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱う必要があります。取得した情報等は、連絡担当者である坪田裕喜子のもと、パスワードロックをかけた外部ハードディスク、鍵のかかるキャビネットで厳重に保管します。

#### 4. 研究に関する情報の公開および研究により得られた結果等の取扱い

研究の成果は、学会発表や学術雑誌で公表します。

国内外の学術雑誌での公開にあたっては、研究成果の第三者による検証や複数の研究の結果を統合して統計的に検討する際の際の原資料となることもあるために、解析・論文作成に用いた資料を学術雑誌社・学会（誌）へ提供・公開すること、また保管されることがあります。

個人的なお問い合わせをいただいた場合、個別の研究結果、または全体の研究結果（もしくは両方）についてお伝えいたします。

#### 5. 研究実施に伴う研究の対象でない重要な知見が得られる場合に関する取扱い 解析結果に関して

本研究で行った解析の結果は、現時点ではその意義や精度が保証されているものではないため、開示を行えませんのでご了承ください。ただし、研究者が医学的な観点等からお伝えする必要があると判断する情報が得られた場合には、倫理的側面を考慮してお知らせすることがあります。

## 6. 研究対象者にもたらされる利益及び不利益

この研究に参加することによる利益として、日本の眼科の女性医師や若手医師の離職原因が判明し、それに対して対策が適切に行われた場合、現在不足している医療人材の増加に貢献できることが考えられます。

## 7. 研究終了後の試料・情報等の取扱い方針

取得した情報・データ等は厳重な管理のもと、研究終了後5年間保存されます。保管期間終了後には、研究責任者のもとデータを削除することで廃棄します。なお研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問い合わせがあれば開示いたしますので下記までご連絡ください。

尚、提供いただいた情報の管理の責任者は下記の通りです。

情報の管理責任者

所属： 東京大学大学院医学系研究科外科学専攻眼科

氏名： 相原 一

## 8. あなたの費用負担

今回の研究に必要な費用について、研究対象者に負担を求めることはありません。  
なお、研究対象者への謝金はございません。

## 9. 研究から生じる知的財産権の帰属

本研究の結果として知的財産権等が発生する可能性はなく、研究によって得られる経済的利益はないものと考えられます。

## 10. その他

この研究は、東京大学医学部倫理委員会の承認を受け、東京大学大学院医学系研究科・医学部長の許可を受けて実施するものです。

なお、この研究に関する費用は、東京大学大学院医学系研究科外科学専攻眼科・医学教育国際研究センター医学教育学部門、東京大学SPRING GXから支出されています。

本研究に関して、開示すべき利益相反関係はありません。

この研究について、わからないことや聞きたいこと、何か心配なことがありましたら、お気軽に下記の連絡先までお問い合わせください。

2023年9月

【連絡・お問い合わせ先】

研究責任者：相原一

連絡担当者：坪田裕喜子

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1

東京大学大学院医学系研究科外科学専攻眼科

電話：03-5815-5411（内線 23480） FAX：03-3817-0798

e-mail：tsubota-yukiko@g.ecc.u-tokyo.ac.jp